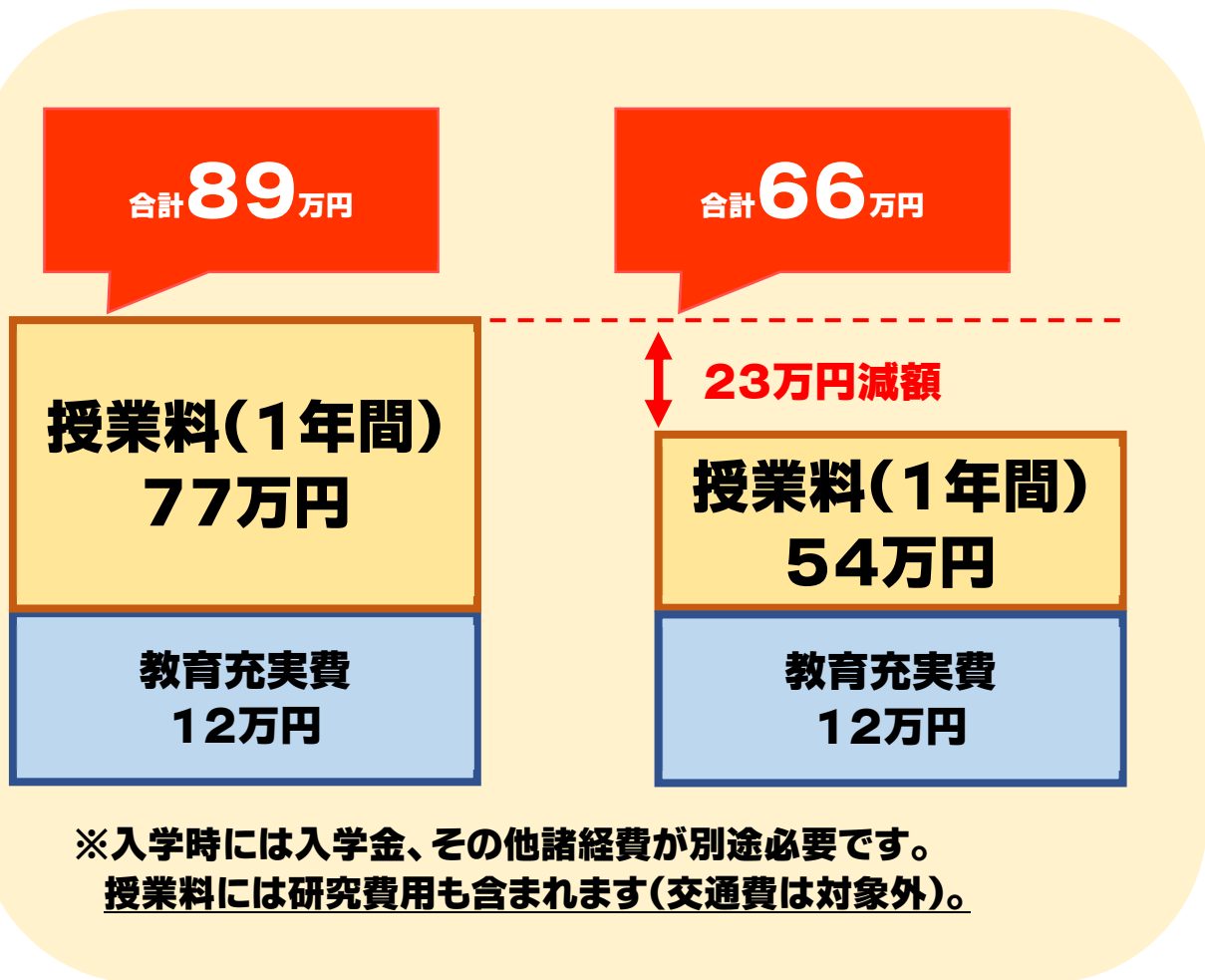


2025年度より、  
摂南大学院看護学研究科 修士課程  
の**授業料を減額**します！



【参考】

出願時、長期履修制度申請により、修業年限を2年から3年に修業期間を延長することが可能です(長期履修学生の許可を受けた場合、2年分の授業料が3年分割され計算されます)。

向上心が、  
原動力。

Smart and Human  
摂南大学 

# 大学院 看護学研究科

## 看護学専攻 修士課程

Setsunan University Graduate school Nursing Master's Course

2025年度大学院案内



## 大学院看護学研究科 概要

### 看護学研究科長のあいさつ

多様な社会のニーズに応え、地域で生活する人々を支援するために、2016年4月に枚方の地に摂南大学院看護学研究科を開設しました。

医療や看護における最新の知識をもとに質の高いケアを提供できる実践者および研究能力を基盤とした看護教育者を養成します。特にがんや心疾患で医療を必要とする患者、地域で生活する難病患者とその家族への支援、認知症や介護予防のための健康づくりの取り組み、子ども虐待予防に向けた子育て支援、発達障がいの子どもの家族支援や生涯にわたる女性の健康保持増進に向けた支援など、実践に繋がるテーマに重点をおき、研究を進めていきます。



看護学研究科長  
鎌田 佳奈美

### ディプロマ・ポリシー(DP:学位授与の方針)

- DP1 看護学の専門領域における課題を、倫理観をもって、科学的・理論的思考に基づいて解決する科学的探究能力を身につけている。
- DP2 看護学に関わる幅広い専門知識を身につけ、広く看護学の発展に寄与できるよう自己研鑽を積むことができる。
- DP3 地域医療やチーム医療を理解し、看護職としてチーム医療のリーダーとなることができる。
- DP4 変化する社会において保健医療福祉の健康問題を捉え、地域医療に貢献できる。

### アドミッション・ポリシー(AP:入学者受入れの方針)

少子高齢化が進む中、疾患や障害と共に生活している対象者へのケアに加え、予防的観点から高齢者の健康の保持増進や子育て支援に取り組みたい、または、臨床の場で卒後教育、継続教育を系統的・効果的に計画運営する創造力と教育力を発揮し看護教育に携わりたいという意欲を持つ人材を受け入れます。

#### 求める人材像

- 1 看護学に関心を持ち、かつ、看護の実践領域、看護教育、看護研究の発展に関心を持つ者
- 2 科学的・論理的思考ができ、看護学における疑問や課題の解決に向けて研究することに強く興味を持つ者
- 3 将来、看護の実践の場でリーダーとなれる資質を有し、看護学や看護実践の発展に向けて活動する意思を有する者
- 4 高い倫理観を有し、地域医療や看護に貢献する意思と責任感を有する者

#### 入学前に修得が望まれる知識・力

- 1 専攻する学問分野の専門的基礎力および応用できる能力
- 2 看護に関する現象に関心を持ち、科学的・論理的に思考する力
- 3 論理的な感性をもつ的確に判断する力
- 4 他者やチームの中での調整力を持ち、問題解決に向けて推進する力

## ●特別研究テーマ

教育課程は「共通科目」と「専門科目」から構成されています。

### 地域・療養支援 看護学領域

患者と家族の  
充実した療養生活と  
地域の人々への健康生活支援



### 健康発達支援 看護学領域

女性の健康および  
子どもの健やかな  
成長発達に向けた支援



#### 地域・療養支援看護学

##### 田中 結華 教授

療養生活を送る患者の看護、ストーマ保有者の看護を研究テーマ・研究課題として扱う。看護実践から見出した研究課題を明確にし、量的研究または質的研究方法による一連の研究指導を行う。

✉ [y-tanaka@nrs.setsunan.ac.jp](mailto:y-tanaka@nrs.setsunan.ac.jp)

##### 稲垣 美紀 教授

急性・重症患者や周術期患者の看護、循環器疾患患者の看護を研究テーマ・研究課題として扱う。看護実践から見出した研究課題を明確にし、量的研究または質的研究方法による一連の研究指導を行う。

✉ [miki.inagaki@nrs.setsunan.ac.jp](mailto:miki.inagaki@nrs.setsunan.ac.jp)

##### 小堀 栄子 教授

日本に住むタイ人の健康状態を疫学的調査で明らかにし、その改善及び将来的な健康に関する研究を行っている。今後はタイ本国での調査を行うとともに、タイ人以外の日本在住外国人の健康に関する研究を視野に入れている。

✉ [kobori@nrs.setsunan.ac.jp](mailto:kobori@nrs.setsunan.ac.jp)

##### 富永 真己 教授

看護師や介護職といった医療・保健・福祉産業やIT産業で働く人々の離職と職場環境、さらに地域の人々の心身の健康の保持増進、疾病の早期発見・早期治療、社会復帰、生活の質の向上などをテーマとした量的・質的研究についての一連の研究指導を行う。

✉ [maki.tominaga@nrs.setsunan.ac.jp](mailto:maki.tominaga@nrs.setsunan.ac.jp)

##### 松田 千登勢 教授

様々な場で生活する高齢者・家族への看護、認知症高齢者の看護、介護予防・施設におけるリスクマネジメント、高齢者看護における多職種連携などを研究テーマ・研究課題として扱う。量的研究または質的研究方法による一連の研究指導を行う。

✉ [citose.matsuda@nrs.setsunan.ac.jp](mailto:citose.matsuda@nrs.setsunan.ac.jp)

##### 森谷 利香 教授

慢性病、特に神経難病を持つ対象の理解やQOLの維持・向上のための看護、および、これらの対象を支える看護職者が抱える課題等を研究テーマとして扱い、質的研究、量的研究を用いた一連の研究指導を行う。

✉ [moriya@nrs.setsunan.ac.jp](mailto:moriya@nrs.setsunan.ac.jp)

#### 健康発達支援看護学

##### 鎌田 佳奈美 教授

あらゆる健康段階の子どもとその家族の看護、子ども虐待予防・早期発見と家族への養育支援および看護者への支援をテーマ・研究課題とし、質的・量的研究方法による一連の研究指導を行う。

✉ [kamata@nrs.setsunan.ac.jp](mailto:kamata@nrs.setsunan.ac.jp)

##### 池田 友美 教授

病気や障がいのある子どもとその家族に対して、生活の場で提供される看護実践の研究動向を学修し、子どもと家族が本来持っている力を最大限に発揮できる看護実践のあり方、課題解決の方策を探究するための研究指導を行う。

✉ [ikedat@nrs.setsunan.ac.jp](mailto:ikedat@nrs.setsunan.ac.jp)

##### 井田 歩美 教授

リプロダクティブ・ヘルス/ライツの視点を持ち、女性の一生を中心にパートナーおよび家族への健康支援に必要な実践的ケアを研究テーマ・研究課題として、量的研究・質的研究方法およびテキストマイニング法を用いた研究指導を行う。

✉ [ayumi.ida@setsunan.ac.jp](mailto:ayumi.ida@setsunan.ac.jp)

##### 佐久間 夕美子 教授

女性のライフステージにおける様々な健康課題に関する研究のほか、学生の学びや看護学教育、看護と介護の協働など、幅広い内容を研究テーマとして扱い、量的研究・質的研究を用いた一連の研究指導を行う。

✉ [yumiko.sakuma@nrs.setsunan.ac.jp](mailto:yumiko.sakuma@nrs.setsunan.ac.jp)

##### 眞野 祥子 教授

母親の育児負担の軽減、子どもの健全な情緒的・身体的発達、父母をはじめとする家族が抱える問題解決を目指し、母親のメンタルヘルス、愛着、養育態度、親子関係をテーマとした研究の指導を行う。

✉ [mano@nrs.setsunan.ac.jp](mailto:mano@nrs.setsunan.ac.jp)

#### 事前相談について

- 出願期間前に、志望する専攻分野・専攻領域の研究指導担当教員に必ず相談してください。
- ・ 研究指導担当教員への相談については、上表の各教員のメールへお問い合わせください。
- ・ 一般的なことや志望分野が決まっていない場合は、枚方事務室[TEL:072-807-6001]までお問い合わせください。

## 教育課程 (看護学研究科 看護学専攻 修士課程)

● 必修科目 ● 選択必修科目 ■ 講義科目 □ 演習科目

	1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期
共通科目	● 看護学研究 / 臨床看護倫理 フィジカルアセスメント特論 疾病・病態特論 医療経済特論 / 看護教育特論 看護教育方法演習	薬物治療学特論 看護人間工学特論 看護現任教育特論 チーム医療演習		
	地域医療防災演習			
専門科目	地域・療養支援看護学領域			
	● 地域・療養支援看護学特論	● 地域・療養支援看護学演習	● 地域・療養支援看護学援助特論	
	健康発達支援看護学領域			
	● 健康発達支援看護学特論	● 健康発達支援看護学演習	● 健康発達支援看護学援助特論	
	● 特別研究			

- ① 共通科目は、看護学における研究、倫理、教育及び疾患の病態等の基礎的知識を学び、学際的視点を持って看護の課題に取り組む能力を育成します。
- ② 専門科目は、専攻する領域の人々への支援に必要な概念や理論について学びを深め、看護学研究を推進する能力を育成します。
- ③ チーム医療演習や災害研修等を通して、地域医療を担えるリーダーの育成し、看護人間工学や医療経済等の学際的視野を持ち合わせて看護を実践し、研究を推進する能力を育成します。

履修方法: (1) 専攻する領域の「看護学特論(2単位)」「看護学演習(2単位)」「看護学援助特論(2単位)」の計6単位、共通科目から「看護学研究(2単位)」を含む16単位、「特別研究(8単位)」の合計30単位以上を修得することとしています。

(2) 本研究科の教育研究上の基本理念や目的に沿った指導のもと修士論文の作成に取り組み、修士論文の審査および最終試験を受けるものとします。

修了要件: 本大学院に2年以上在学し、所定の授業科目30単位以上を修得し、かつ、修士論文の学位論文審査に合格すること。

開講時間: 授業は主に平日6限目(18時20分~19時50分)と土曜日に開講しています。

## 学生の声

### 修了生の声

#### 黄 開運さん

回復期リハビリテーション病棟で看護師として4年間働き、様々な体験をしました。その中で、「その人らしさを支える」「安全に地域で生活する」これが一番だと思っています。患者さんの回復過程を支える中では、看護師の日々のケアやチーム医療の重要性を痛感し、同時に自分の知識不足を実感しました。質の高い看護ケアが提供でき、もっと老年看護についての知識や看護研究を学びたいと思い、摂南大学看護学研究科に入学しました。

摂南大学看護学研究科に入学し、週末の仕事と平日の学校生活を両立していました。また、奨学金制度が充実している大学で、経済面の心配がありませんでした。大学院では、老年看護の諸理論からチーム医療の現場見学まで幅広い知識の学習や体験ができ、高い看護実践力を身につけることができました。さらに、大学院での研究活動を通して、研究の分析方法などを深く勉強できました。

### 在校生の声

#### 津曲 由美さん

私が大学院への進学を決めたのは、高齢者施設で働く自分の看護実践に、寂然としない思いを抱えていたからです。年齢を重ねていく毎に経験値に埋もれ、様々なことを俯瞰して見られなくなっている自分に焦りを感じていた時、大学院へ進学し、もっと幅広い視野で自分の看護を見直したいと思いました。

現在、私は大学院で、看護学の理論を学びそれらを実践と結びつけること、薬学や教育など専門性の高い分野についての知見を深めること、さらに修士論文の作成に向けて研究活動に取り組んでいます。課題の事前学習からプレゼンテーションを行う授業では、先生や大学院の仲間とのディスカッションの中で、様々な分野の情報や知識、多様な考え方を知ると同時に、自分の経験や学びを論理的に伝えるという難しさもあり、それらは大学院での学びの大きな醍醐味だと感じています。また、多くの文献を読んで、研究が看護の発展に大きく寄与していることを改めて知り、高齢者施設の看護実践について研究したいという思いが強くなりました。

私は長期履修生のため、入学してから2年間は仕事と学業の両立という大きな課題もありましたが、ゼミや授業は職場や先生方の配慮もあり、その都度日程を調整しながらすすめることができました。現在は、TAとして看護教育に携わる機会をいただくなど、さらに看護師としてのキャリアアップが図れる環境に身を置くことができ、大学院に進学して本当に良かったと思っています。

## 院生学内外の様子



基礎看護学実習室



大学院研究室



実験研究の様子



院生の学会発表

# あなたの学びをサポートします!!

- 時間を有効に活用するため、オンラインツールも利用しています。
- 長期履修制度を活用し、子育てや仕事をしながら学修している先輩もいます。
- 奨学金やTA(ティーチングアシスタント)制度を活用し、大学院での学修に専念できます。

point  
1

## 研究指導教員が 学びを支援

### 履修指導

研究指導教員が、入学時に履修方法に関する相談・助言を行い、修業年限内での修了を支援します。平日18時20分からと土曜日にも授業等開講しています。

### 長期履修制度(修業年限3年)

職業を有することや育児等の事情により、2年の修業年限内での修了が困難であるとあらかじめ見込まれ、修業期間延長を希望する場合には、「入学志願票」により申請してください。

point  
2

## 奨学金制度

### 奨学金

- 摂南大学学内奨学金(給付制/年間授業料の半額相当額)
  - 日本学生支援機構奨学金(貸与制)第一種奨学金(無利子)月額5万円または8万8千円のうち希望する金額第二種奨学金(有利子)月額5万円、8万円、10万円、13万円、15万円のうち希望する金額
- (注)出願資格には学力と家計の基準があります。
- 留学生対象の奨学金もあります。

point  
3

## TA制度

### TA(ティーチング・アシスタント)制度

きめ細かい指導による授業の質向上および大学院・学部教育の活性化を目的としてTA制度を導入しています。

※「TA制度について」(文部科学省HPより)優秀な大学院学生に対し、教育的配慮の下に、学部学生等に対するチュータリング(助言)や実験、演習等の教育補助業務を行わせ、大学教育の充実と大学院学生のトレーニングの機会提供を図るとともに、これに対する手当ての支給により、大学院学生の処遇の改善の一助とすることを目的とした制度。

point  
4

## 科目等履修生 制度

科目等履修生制度で修了要件に必要な単位の先取りが可能。科目等履修生として修得した単位は、大学院入学後、該当科目の単位を修了要件に換算することができます。

point  
5

## 研究費用も 含んだ学費

学費には、研究に係るフィールドワーク実習費も含まれます(交通費は対象外)※学費は、学生募集要項をご確認ください。

## 入試概要

2025年度

募集人員 6人

修業年限 2年(長期履修制度を利用する場合には3年)

主な出願資格 ★出願資格の詳細は大学HP「摂南大学大学院学生募集要項」をご参照ください。

保健師・助産師・看護師いずれかの資格を取得(取得見込みを含む)し、次の各項のいずれかに該当する方

- ①学校教育法第83条に定める大学を卒業した者または2025年3月末までに卒業見込みの者
- ②個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた方で、2025年3月31日までに22歳に達する者(入学資格審査必要)

※看護系短期大学、専修学校、各種学校を卒業・修了し、看護職として2年以上の実務経験を有する方などが該当します。学士号(大学卒業)は必須ではありません。

※入学資格・入学資格審査等の詳細は入試部(寝屋川キャンパス TEL.072-839-9104)に直接お問い合わせください。

選抜方法 次の各項目を総合的に判定します。

【書類審査】 成績証明書

【学力試験】 ①専門科目(志望専攻分野に関する専門科目から出題)

②外国語(英語[英和辞典のみ持ち込み可。電子辞書の持ち込み不可。])

【面接試験】 個別面接試験

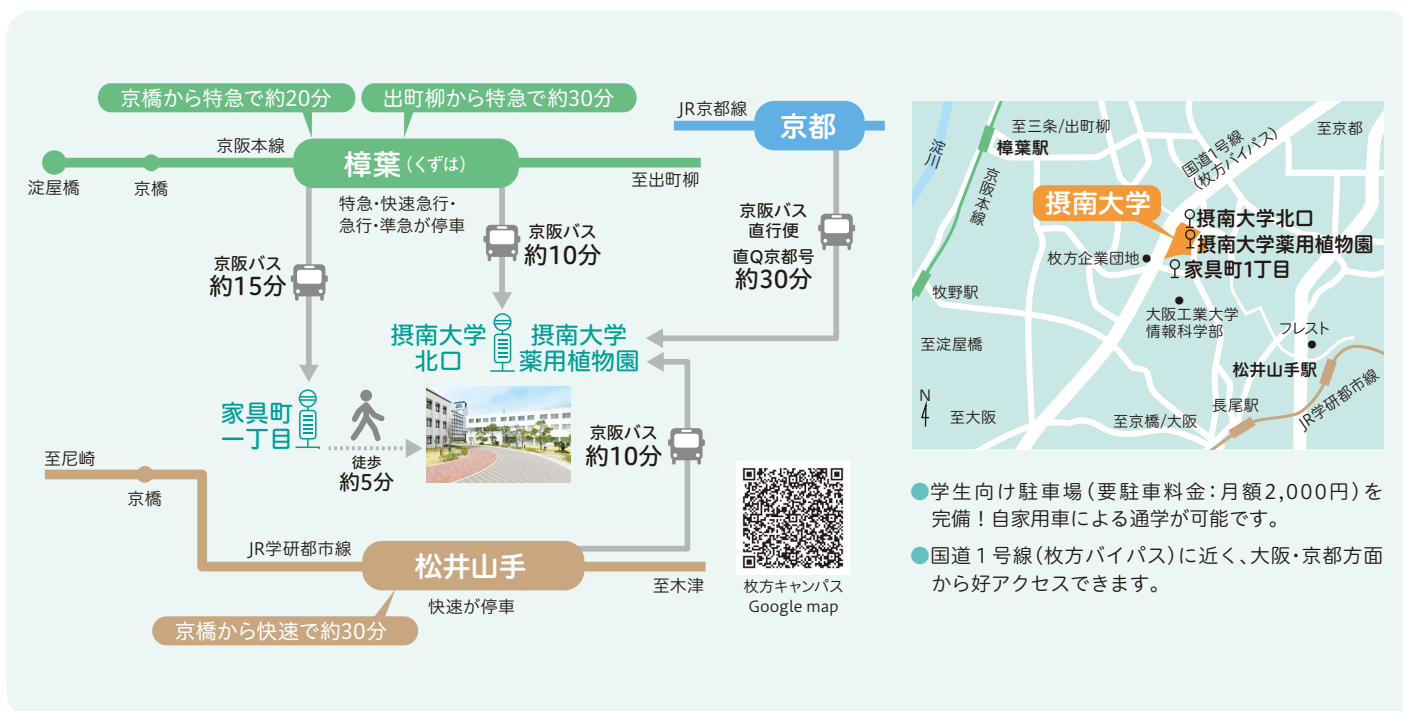
# 2025年度 大学院入試日程・概要

## 選抜試験日程・出願スケジュール

入試区分	試験日	出願期間
一般入試 (第1回)		看護学研究科は募集しません
一般入試 (第2回)	2024年 9月7日(土)	2024年 8月21日(水)～8月28日(水)必着 <sup>※</sup>
一般入試 (第3回)	2025年 2月15日(土)	2025年 1月29日(水)～2月5日(水)必着 <sup>※</sup>

※詳しくは本学Web上に掲載の学生募集要項でご確認ください。

## アクセス(枚方キャンパス)



## お問い合わせ

### 摂南大学大学院 看護学研究科

- 研究内容等に関するお問い合わせ先 枚方事務室(枚方キャンパス) TEL.072-807-6001  
〒573-0101 大阪府枚方市長尾峠町45-1
- 入試に関するお問い合わせ先 …………… 入試部(寝屋川キャンパス) TEL.072-839-9104  
〒572-8508 大阪府寝屋川市池田中町17-8



お問い合わせ  
email address



摂南大学  
HP

併設研究科  
 ■薬学研究科 ■理工学研究科 ■法学研究科  
 ■国際言語文化研究科 ■経済経営学研究科  
 ■農学研究科

Smart and Human  
**摂南大学**